

科目名	日本語Ⅷ
担当教員	石川 智嘉子
クラス	C
開講学期	春学期
曜日・時限	金3
テーマ	日本のドラマを通して、日本語能力を高め、日本の社会などについて学ぶ。
概要	日本のドラマや映画を視聴し、事前に配布されている語彙リストを参考にして内容および背景をおおまかに理解する。内容についての質問に口頭または筆記で答えたり、説明したりする。また、重要な文型や表現が使用されている場面を抜き出し、ディクテーションをした後、登場人物の心情を理解し、ロールプレイを行う。
到達目標	①ドラマや映画において日常的にノーマルスピードで話される日本語を聞きとり、話の流れがおおむね理解できる。 ②ドラマや映画の社会背景や日本文化・事情が理解できる。 ③視聴した内容を設問形式のクイズ(筆記)で解答したり、口頭で説明できる。
授業形態	一斉授業
内容・スケジュール	第1回 オリエンテーション、アンケートおよび「ウォーターボーイズ」① 視聴 第2回 「ウォーターボーイズ」② 第3回 「ウォーターボーイズ」③ 第4回 「ウォーターボーイズ」④ 第5回 「ウォーターボーイズ」⑤ 第6回 コメント発表とディスカッション 第7回 「家政婦のミタ」① 第8回 「家政婦のミタ」② 第9回 「家政婦のミタ」③ 第10回 「相棒」① 第11回 「相棒」② 第12回 「相棒」③ 第13回 「相棒」④ 第14回 「相棒」⑤ 第15回 コメント発表とディスカッション
準備学習・事後学習	配布された語彙リストを読み、理解してから授業に臨むこと。 授業後は、学習した単語や表現などをしっかり復習しておくこと。
学外授業	なし
成績評価の方法と基準	プレゼンテーション(ドラマまたは映画の紹介)50% コメント発表とディスカッション 40% 日常活動(出席および授業態度を含む) 10%
定期試験期間中の試験実施方法	定期試験期間中に試験を実施する。
テキスト・参考図書	取り上げる映画・ドラマの解説プリントや語彙リストを適宜配布
関連する科目、履修者への要望など	一週間前に翌週視聴予定分の語彙リストを配布するので、語彙の意味を確認しておくこと。また、前の週に視聴した内容もできるだけ口頭で説明できるようにしておくこと。授業中の積極的な発話を期待する。
リンク	